

2014年9月2日開催 第591回番組審議会

■ 出席委員

櫻井美幸委員長、佐藤友美子副委員長、上田理恵子委員(書面)、神谷徹委員、小菅洋人委員、佐藤卓己委員(書面)、中野健二郎委員、東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役、木田取締役
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長
岡田制作局長、長富プロデューサー

◆ 審議事項

1) 全国ネットテレビ番組～ヤンマースペシャル 地球学校～「クイズ!侍インザワールド」(2014年7月26日(土)15:30～16:54放送)について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

- * 一社提供でコマーシャルに一貫性があり、とても見やすいこと、それから、番組がヤンマーの農耕機械と似合う自然の情景が多いので、コマーシャルが煩わしく感じなかった。
- * コメンテーターに関して、その人数、そして、芸人たちやキャッキヤとするタレントではなかったのが番組全体を締めていた。最近のワイワイとした番組とは違う、ちょっと抑えた加減が感じられて、僕ぐらいの年代にはちょうど心地よかった。
- * こういう日本の技術は結構たくさんあり、いろんな部材に使われている。日本人の匠ではないけれども、技術というのは結構いろいろなところに使われていることを訴える意味でもよかった
- * 非常に楽しく見ることができ、すばらしい、充実した内容だった。題材が15個あって、テンポよく飽きさせず、80分の間に詰まっている。それが2か所の美しい風景の中に集中的に詰め込んであって、1つのストーリーがそれぞれできている。
- * ライトな散歩感覚でよかったが、もうちょっと知りたいところがあった。人情話にはしなくていいが、なぜ海外でというところを日本の側の取材も含めて教えてもらえるとすごく参考になる。
- * 画面に出てくる女性の表情がすごく自然で明るいのがよかった。スタッフと信頼関係を結んで取材されたというのが伝わってきて、すごくよかった。
- * 司会のバナナマンをはじめ、パネリストの方々もいやみがなく、それぞれの魅力が引き出されていて、好感が持てた。
- * 女性的な繊細な眼差しでの「日本自慢」が美しい異国の風景とともに心地よかった。先端技術を誇る大企業よりも、中堅企業の職人技にスポットを当てることの社会的意義も大きい。

2) 諮問事項（民放連放送基準の改定について）

民放連放送基準改正に伴う、毎日放送放送基準（広告基準）の一部改正についての諮問に対して、毎日放送番組審議会から妥当である旨の答申を受けた。

以上